JC4. WEKOコンテンツ個別登録実習

Version 3.2

2015年9月16日　国立情報学研究所
2017年7月10日　研修作業部会・JAIRO Cloud運用作業部会改訂

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

本資料は、機関リポジトリ新任担当者研修「コンテンツ個別登録実習」用テキストとして、
下記の構成を一部変更したものです。

６．WEKOコンテンツ個別登録マニュアルVersion 2.4
2015年9月16日　国立情報学研究所
http://id.nii.ac.jp/1038/00000046/

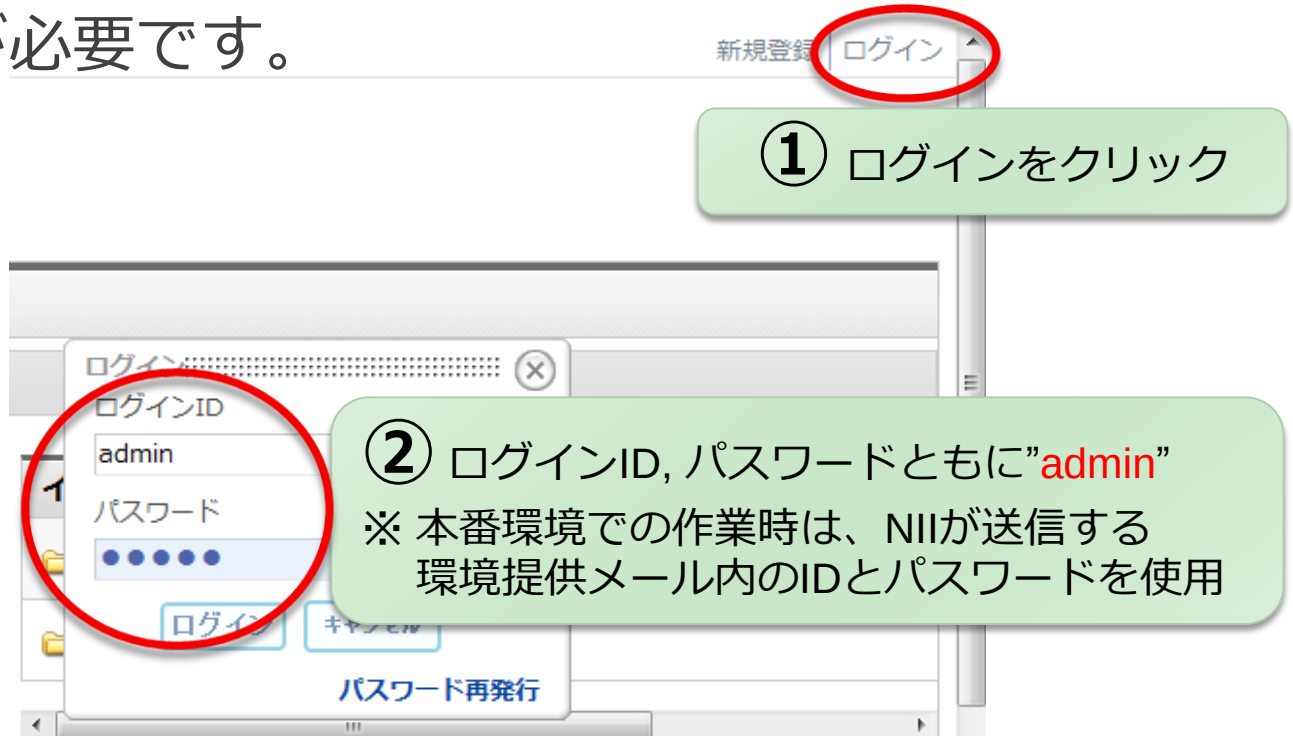
※　実際に操作する際は下記のマニュアルを参考に作業してください。

http://id.nii.ac.jp/1038/00000094/
http://id.nii.ac.jp/1038/00000167/

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

準備：JAIRO Cloudのログイン

- WEKOでは「コンテンツ」を「アイテム」と呼びます。
- 「アイテム登録」を行うには、JAIRO Cloudのログインが必要です。



① ログインをクリック

② ログインID, パスワードともに”admin”

※ 本番環境での作業時は、NIIが送信する環境提供メール内のIDとパスワードを使用

ページの最上部が （ログイン名） | 管理 | ログアウト | ページスタイル | セッティングモード に変化すれば、ログイン成功

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

参考：実際のJAIRO Cloud環境でのログイン

- JAIRO統合認証システムの画面になる
- ユーザIDとパスワードを入力する



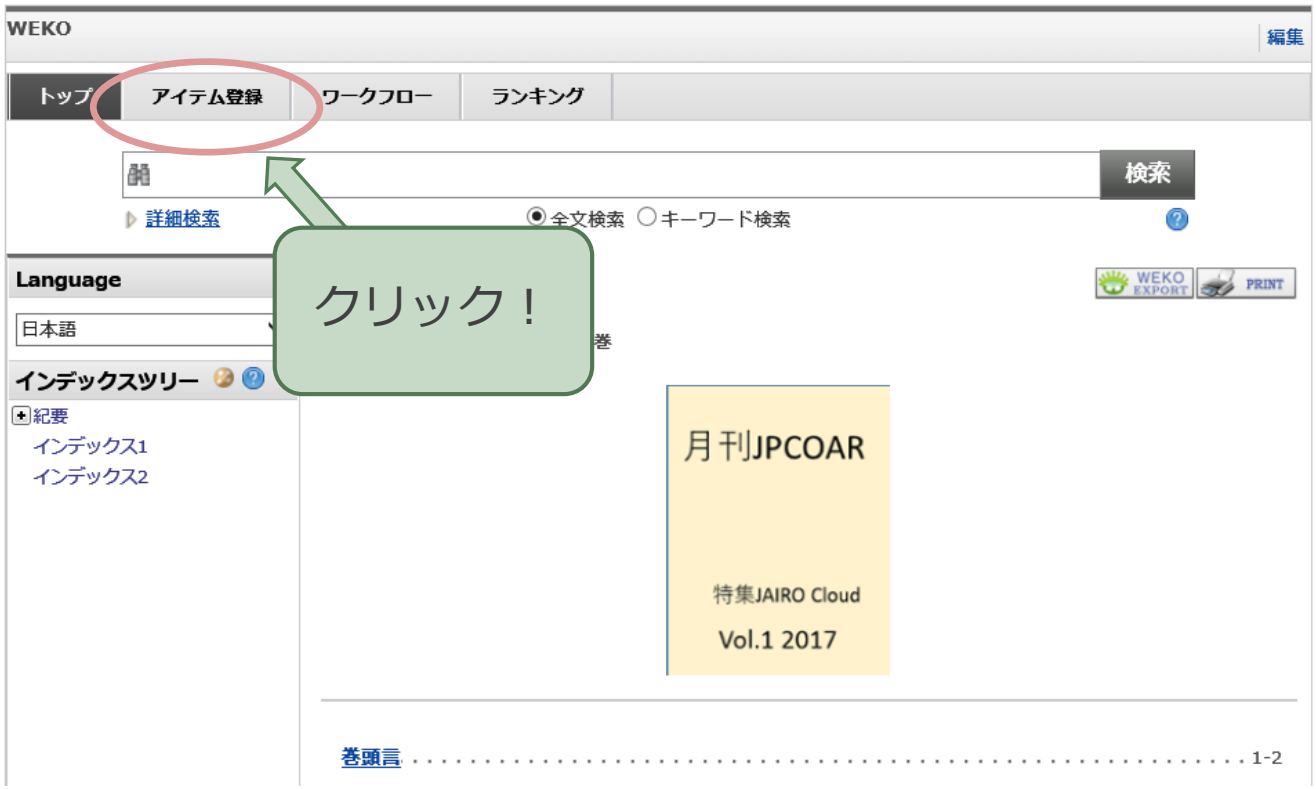
ユーザIDとパスワードを入力したら、
「Continue」をクリック！

※ 今回の実習用の環境では表示されません。

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

1．アイテム登録画面へのアクセス

- ①「アイテム登録」タブを選択する
  ⇒ アイテム登録画面が表示される

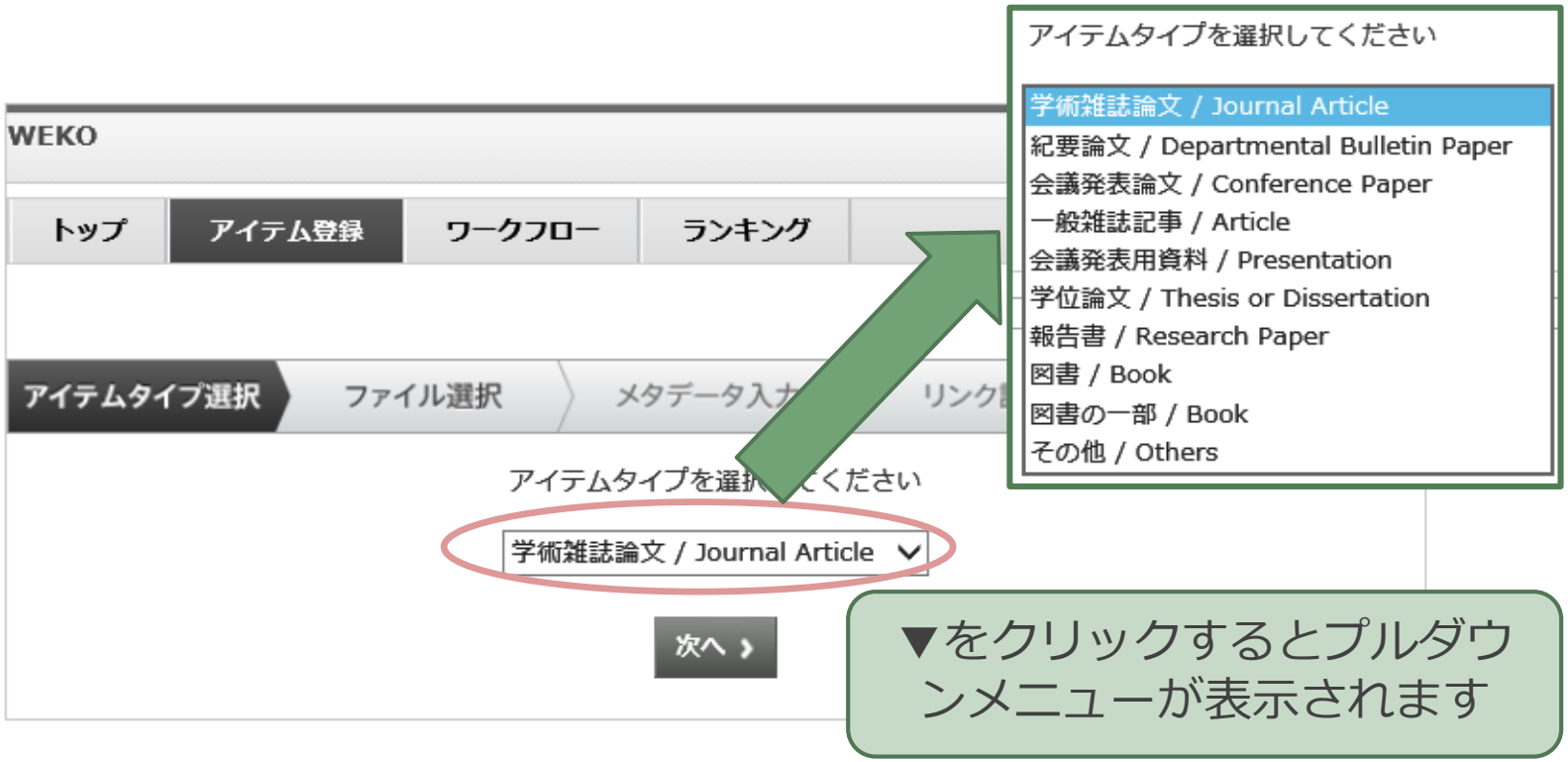


国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

2．アイテムタイプ（メタデータセット）選択

- ① プルダウンメニューからアイテムタイプを選択する

  ※一度選択した「アイテムタイプ」は変更できません
- ② 「次へ」ボタンをクリックする



3．添付ファイル登録

- ①「参照」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログ上で，コンテンツに添付するローカルファイルを選択する
  - 「More input row」ボタンをクリックすると登録欄が増え、複数のファイルを添付可能
- ②「次へ」ボタンをクリックする



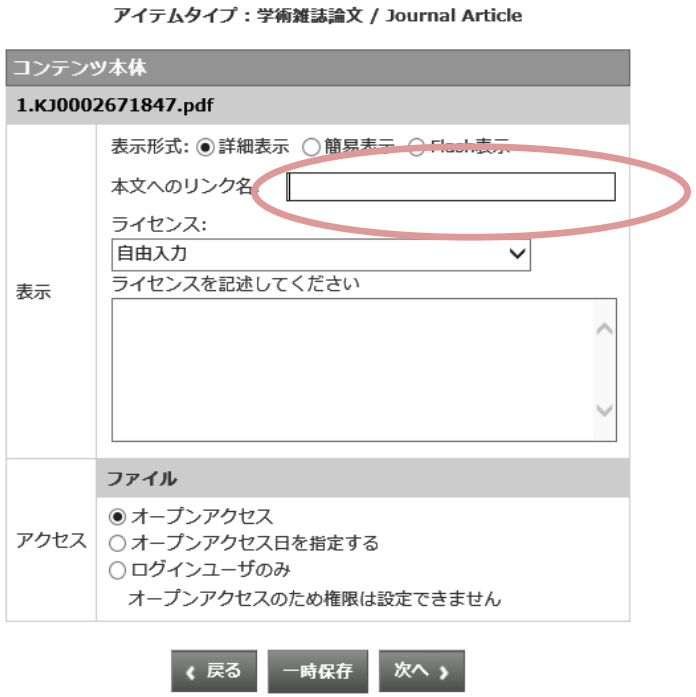
①「参照」をクリックして，登録するファイルを選択します

「保存」ボタンは，一時保存する，というボタンです。

②「次へ」をクリック！

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (1/10)

- ①「本文へのリンク名」を入力する
  - ファイル名とは別に、表示に使用する名称を入力する



表示に使用する，わかりやすい名称を記入してください。

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (2/10)

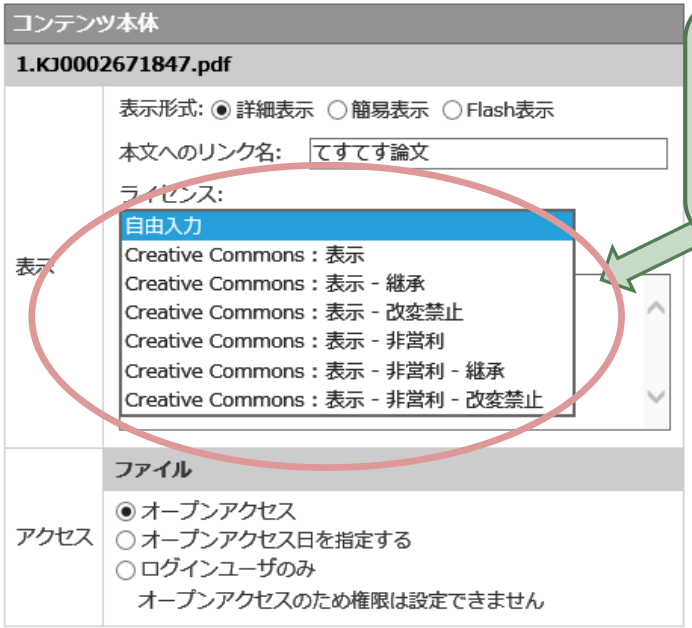
- ②ライセンスを指定する
  - ライセンスは自由記述、もしくは規定のCreative Commonsライセンス (全6種類) から選択することができる



自由記述の場合は
Copyrightを記入します

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (3/10)

- ②ライセンスを指定する
  - ライセンスは自由記述、もしくは規定のCreative Commonsライセンス (全6種類) から選択することができる



Creative Commonsライセンスの場合は，どれかを選択します

Creative Commonsライセンスについては，Creative Commons のサイトに詳しく書かれています。
▶http://creativecommons.jp/
次のページでも詳しく説明します

※ CCライセンスを選択する場合は著作権者と著作者双方の許諾を確認する必要があります。

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (4/10)

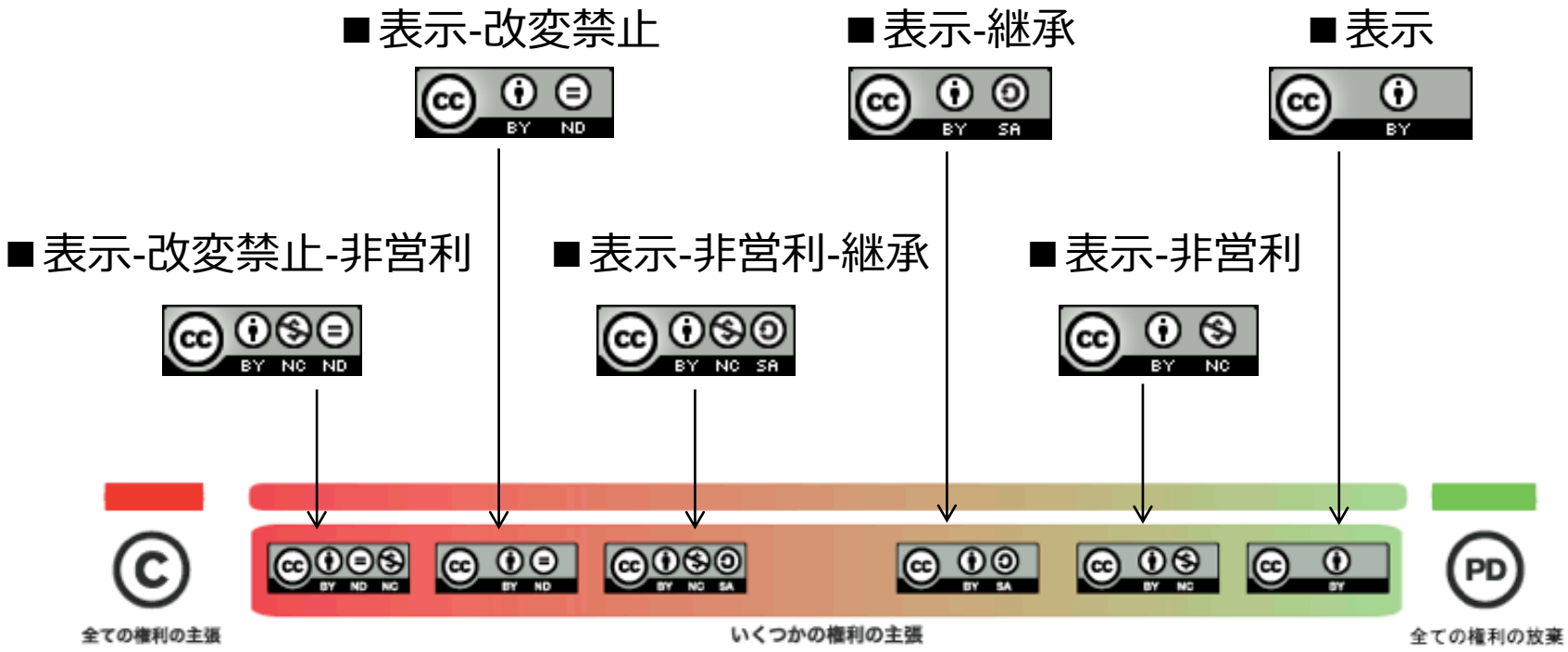
- 参考：Creative Commonsライセンスとは？
  - 作品の作者が自ら著作権についての意思表示をするツール。利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け手はライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどをすることができる。（http://creativecommons.jp/licenses/より抜粋）
- Creative Commonsライセンス（CCライセンス）は、以下の4種類の条件を組み合わせて表現されます。

1. 表示　　作品のクレジットを表示すること
2. 非営利　　営利目的での利用をしないこと
3. 改変禁止　　元の作品を改変しないこと
4. 継承　　元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (5/10)

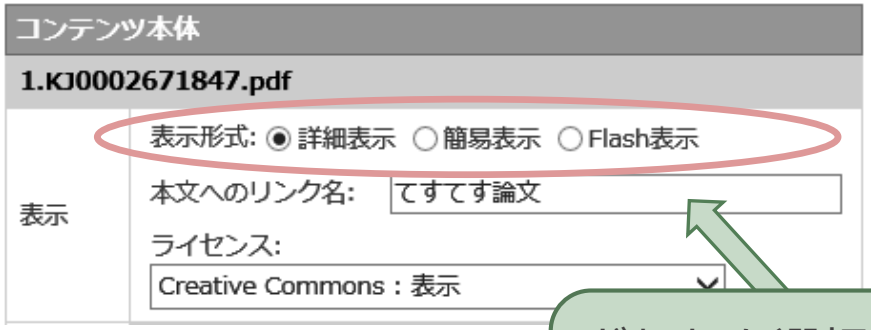
- 参考：Creative Commonsライセンスの種類
  - 以下の6つの種類があります（http://creativecommons.jp/licenses/より）



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (6/10)

- ③コンテンツの詳細ページにおけるファイルの表示形式を指定する
- 「詳細表示」「簡易表示」「Flash表示」から1つを選択。
- ⇒次へクリック。



どれかを選択。
どういう表示になるか次のページから説明します。

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (7/10)

- 「詳細表示」



Creative Commons ライセンスのマークが表示されています

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (8/10)

- 「簡易表示」



1つのコンテンツを章ごとに分けてUPするときなどは，簡易表示が向いています。

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (9/10)

- 「Flash表示」



Flashで
本文コンテンツが
閲覧できます。

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

4．ファイルライセンス／アクセス制限 (10/10)

- ④ ファイルのアクセス制限を指定する
  - オープンアクセス：誰でもアクセス可能。すぐ公開。
  - オープンアクセス日(エンバーゴ)指定：指定年月日までログインユーザ以外閲覧不可
  - ログインユーザーのみ：ログインユーザ以外閲覧不可
- ⑤ 「次へ」ボタンをクリックする



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

5．メタデータ入力

- ① メタデータを入力する
  - 「More input row」ボタンをクリックすると入力欄が増え、複数入力が可能
  - メタデータを外部機関から参照し、自動入力することが可能 (次ページ参照)



「メタデータ入力」のフローに入りました

～省略～

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

5-1．メタデータ自動入力 (1/8)

- ① プルダウンメニューからメタデータ取得先を選択し、IDを入力する
  - ISBN /CiNii(NAID) / PubMed(PMID) / /WEKO_ ItemID(既存データ) / 医中誌(文献管理番号) /CorssRef/ を選択可能
- ② 「取得」ボタンをクリックする
- ③ 入力された取得データを確認する



③メタデータが自動で入力されます。

①取得先をプルダウンから選択し，IDを入力
②「取得」ボタンをクリック！

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

5-2．メタデータ自動入力 (2/8)

- CiNiiの場合

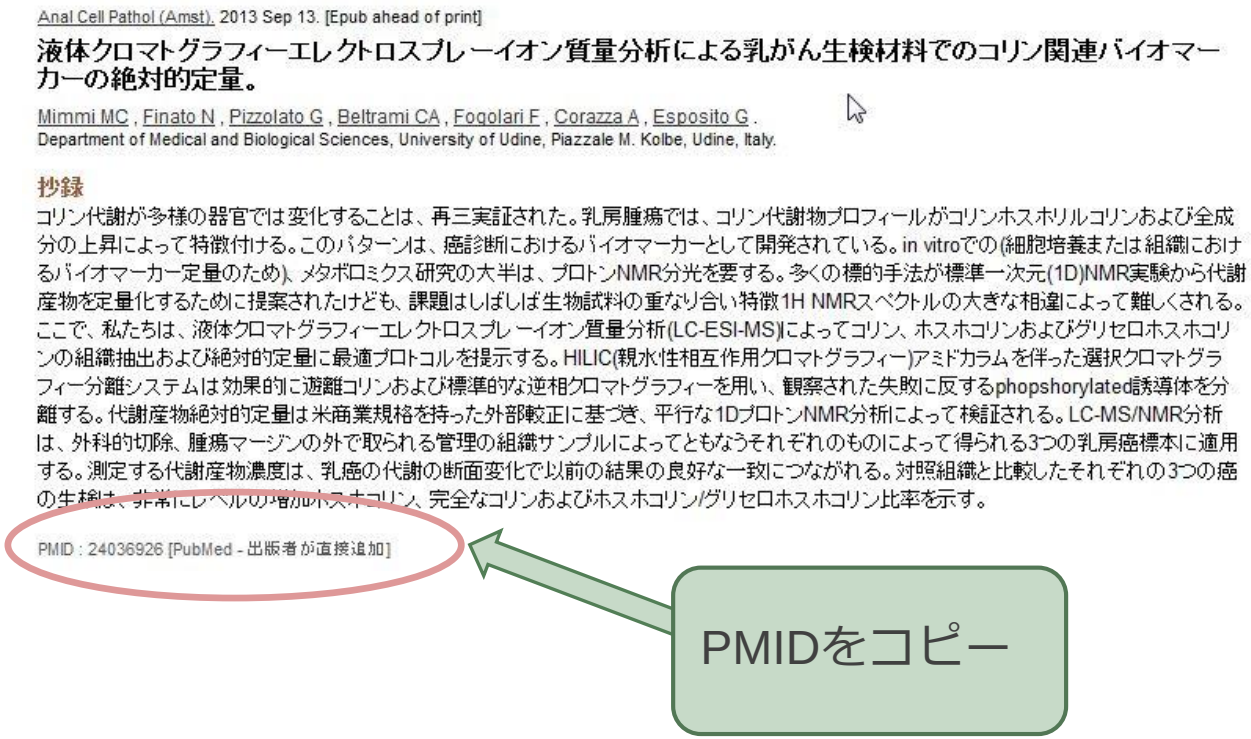
①CiNiiのサイト（http://ci.nii.ac.jp/）で該当論文を検索

②NAIDをコピーして，WEKOのメタデータ自動入力画面に戻り，入力する。



5-3．メタデータ自動入力 (3/8)

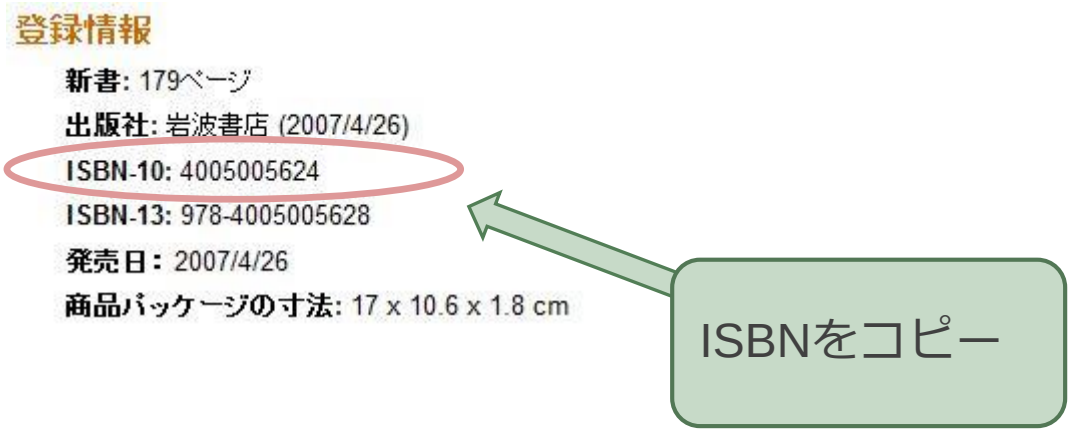
- PubMedの場合
- http://pubmed.jukkou.com/



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

5-4．メタデータ自動入力 (4/8)

- ISBNの場合
- http://www.amazon.co.jp/（AmazonのWebサイト）

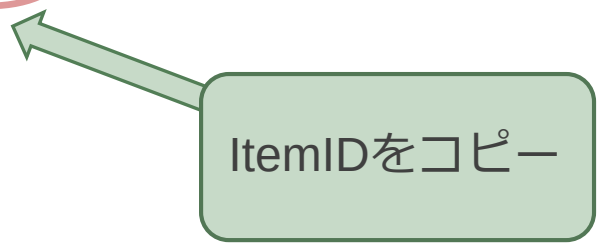


5-5．メタデータ自動入力 (5/8)

- WekoItemIDの場合
- リポジトリサイト内で該当論文を検索し、URL内にあるItemIDをコピー

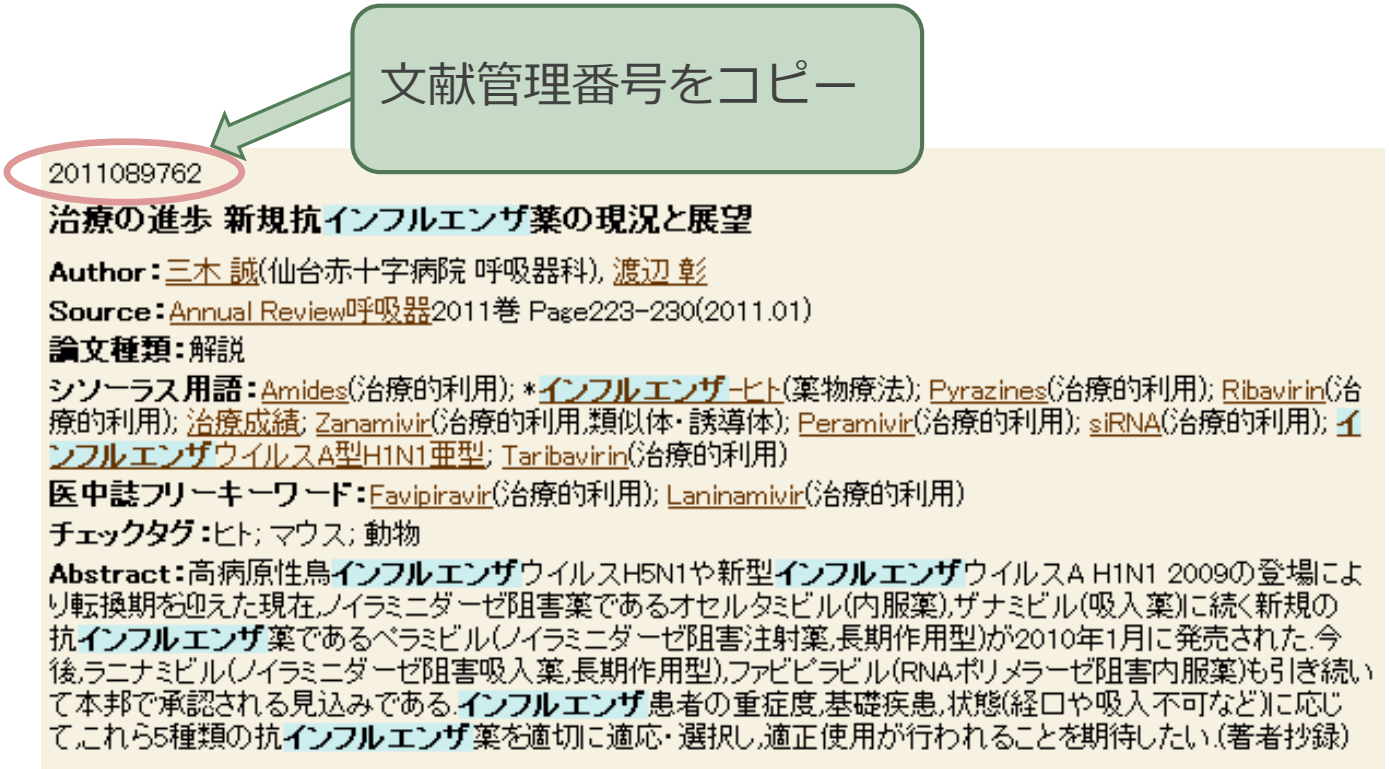
例

https://xxx.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=1154&item_no=1&page_id=13&block_id=21



5-6．メタデータ自動入力 (6/8)

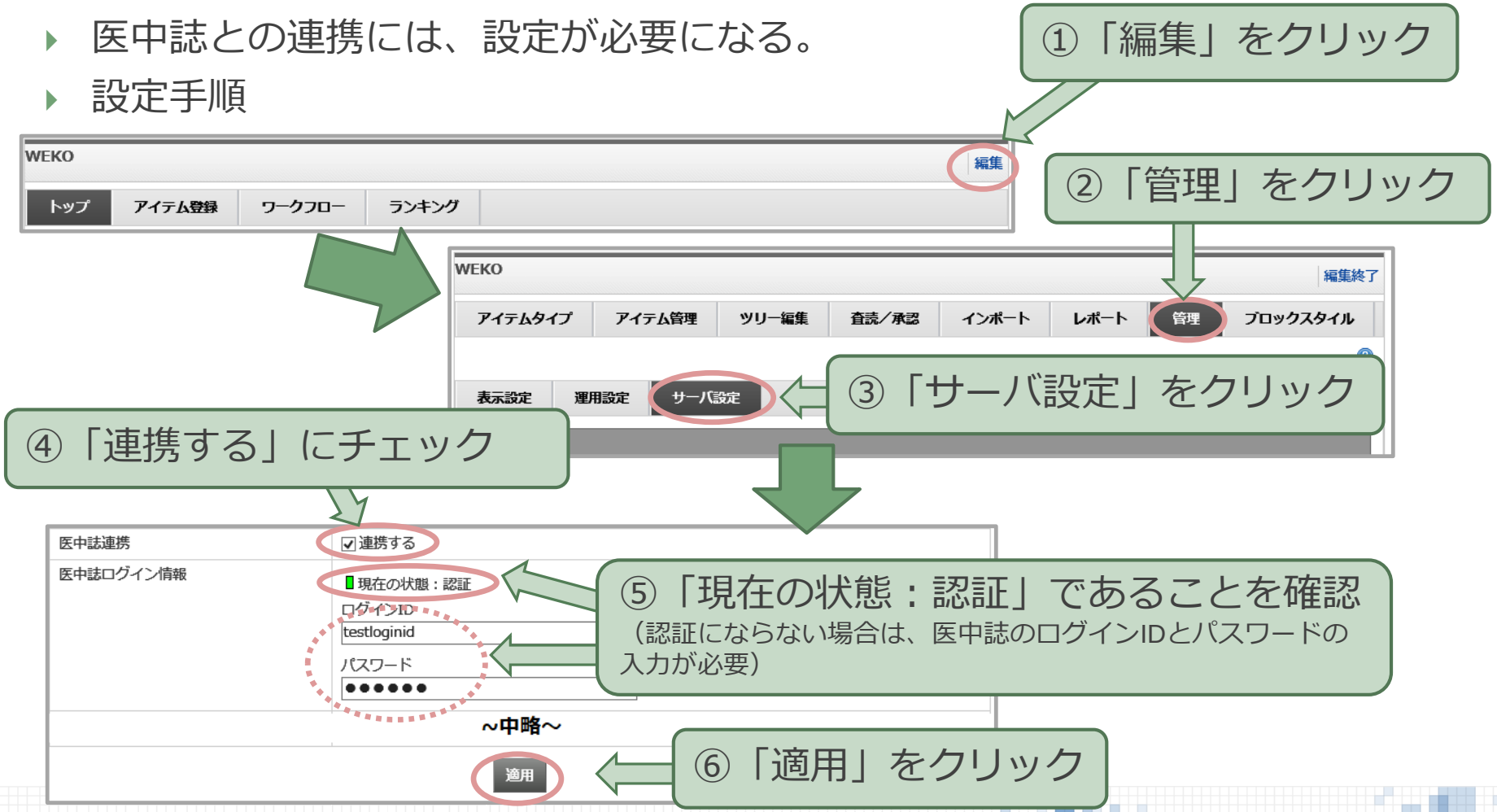
- 医中誌の場合
- http://login.jamas.or.jp/



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

5-7．メタデータ自動入力 (7/8)

- 参考：医中誌との連携の設定
- 医中誌との連携には、設定が必要になる。
- 設定手順



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

5-8．メタデータ自動入力 (8/8)

- CrossRef DOIの場合
- http://www.crossref.org/

例：

http://doi.org/10.1109/ings.2008.18

10.1109/ings.2008.18

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

6．登録先インデックス指定

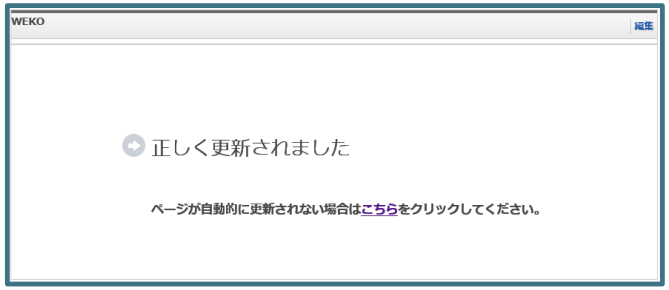
- ① 登録先インデックスにチェックを入れる (複数選択可能)
  - 登録先インデックス作成手順は「2.コンテンツ登録準備マニュアル」を参照
- ② 「次へ」ボタンをクリックする



7．コンテンツ登録

- ① 登録情報を確認する
- ② 「決定」ボタンを
  クリックする

⇒ コンテンツが登録され、
「正しく更新されました」
メッセージが表示される





「確認」のフローです

「決定」をクリック！

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

8-1．登録したコンテンツの確認

- トップページにアクセスして，
  コンテンツデータが
  正しく登録されたことを確認する。

※ コンテンツが公開できているかを見る
ために，ログアウトしてから確認するのが
望ましい。



8-2. 登録したコンテンツの編集

- 再編集が必要な場合は、ログインを行った状態で、対象アイテムを選択して編集を行う。



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

8-3．登録したコンテンツ本文の差替

- 登録したコンテンツの本文を差替えしたい時。
  ver.2.3.1より実装。ダウンロードログを引き継いで差替えが可能

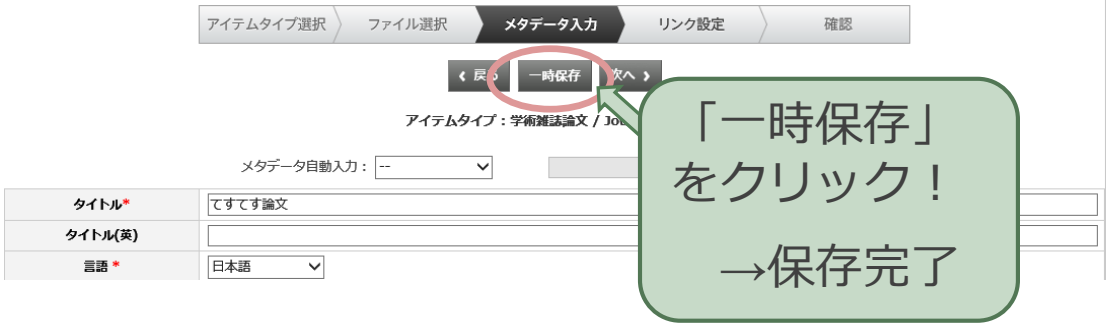


「差替」をクリック
※「削除」ではない

9-1. コンテンツ登録中の一時保存

- コンテンツの登録途中で「一時保存」をクリックすると、登録中のコンテンツを一時保存できます。

保存するとき



- 「ワークフロー」から、一時保存したファイルを確認したり、編集したりできます。

保存したコンテンツを確認・編集するとき



9-2. コンテンツ編集中の一時保存（注意！）

・コンテンツの登録を完了し、一旦ハーベストが行われたデータについて、再度訂正編集する際に「一時保存」を実行すると、該当コンテンツは「非公開」となります。
・「非公開」のままハーベストが実行されると、該当コンテンツについて「取り下げ」となります。
Self DOIを付与したコンテンツについて編集する際は特に注意！

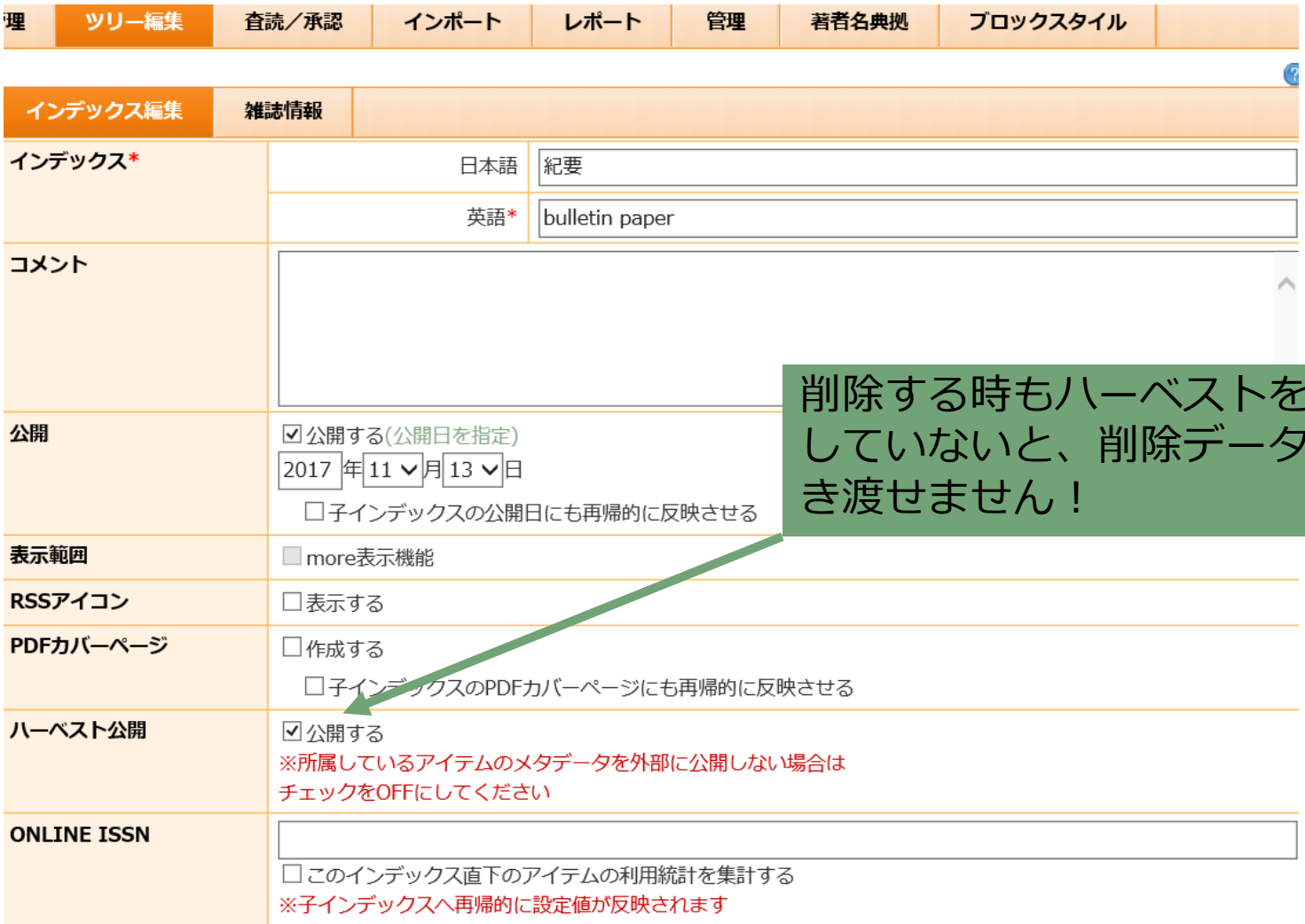
※一度DOIの付与されたコンテンツについて「取り下げ」を行うと、該当コンテンツには二度とDOIは付与できません。
再度付与する必要がある場合は、アイテムを再登録する必要があります。

10-1．コンテンツの削除　（注意！）

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
- <OAI-PMH xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/">
      <responseDate>2016-05-31T03:41:49Z</responseDate>
      <request verb="Identify">https://shoin.repo.nii.ac.jp/?action=repository_oaipmh</request>
    - <Identify>
          <repositoryName>Kobe Shoin Women's University Repository</repositoryName>
          <baseURL>http://shoin.repo.nii.ac.jp/oai</baseURL>
          <protocolVersion>2.0</protocolVersion>
          <adminEmail>library@shoin.ac.jp</adminEmail>
          <earliestDatestamp>2012-01-31T00:00:00Z</earliestDatestamp>
          <deletedRecord>transient</deletedRecord>
          <granularity>YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ</granularity>
      </Identify>
  </OAI-PMH>
```

JAIRO Cloudの場合は、
削除しても削除データは保持しているが、非公開インデックスに移すなどして一度ハーベストしてもらってから完全に削除する方が安全。

10-2. コンテンツの削除　（注意！）



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

10-3. コンテンツの削除

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
- <OAI-PMH xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/">
      <responseDate>2016-08-01T02:51:35Z</responseDate>
      <request identifier="oai:shoin.repo.nii.ac.jp:00001332" metadataPrefix="junii2" verb="GetRecord">https://shoin.repo.nii.ac.jp/?
          action=repository_oaipmh</request>
    - <GetRecord>
        - <record>
            - <header status="deleted">
                  <identifier>oai:shoin.repo.nii.ac.jp:00001332</identifier>
                  <datestamp>2016-03-18T01:51:31Z</datestamp>
              </header>
          </record>
      </GetRecord>
  </OAI-PMH>
```

「Getrecord」で 「<header status=“deleted”>」となっているか確認

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

１１．簡単なOAI-PMHの確認方法



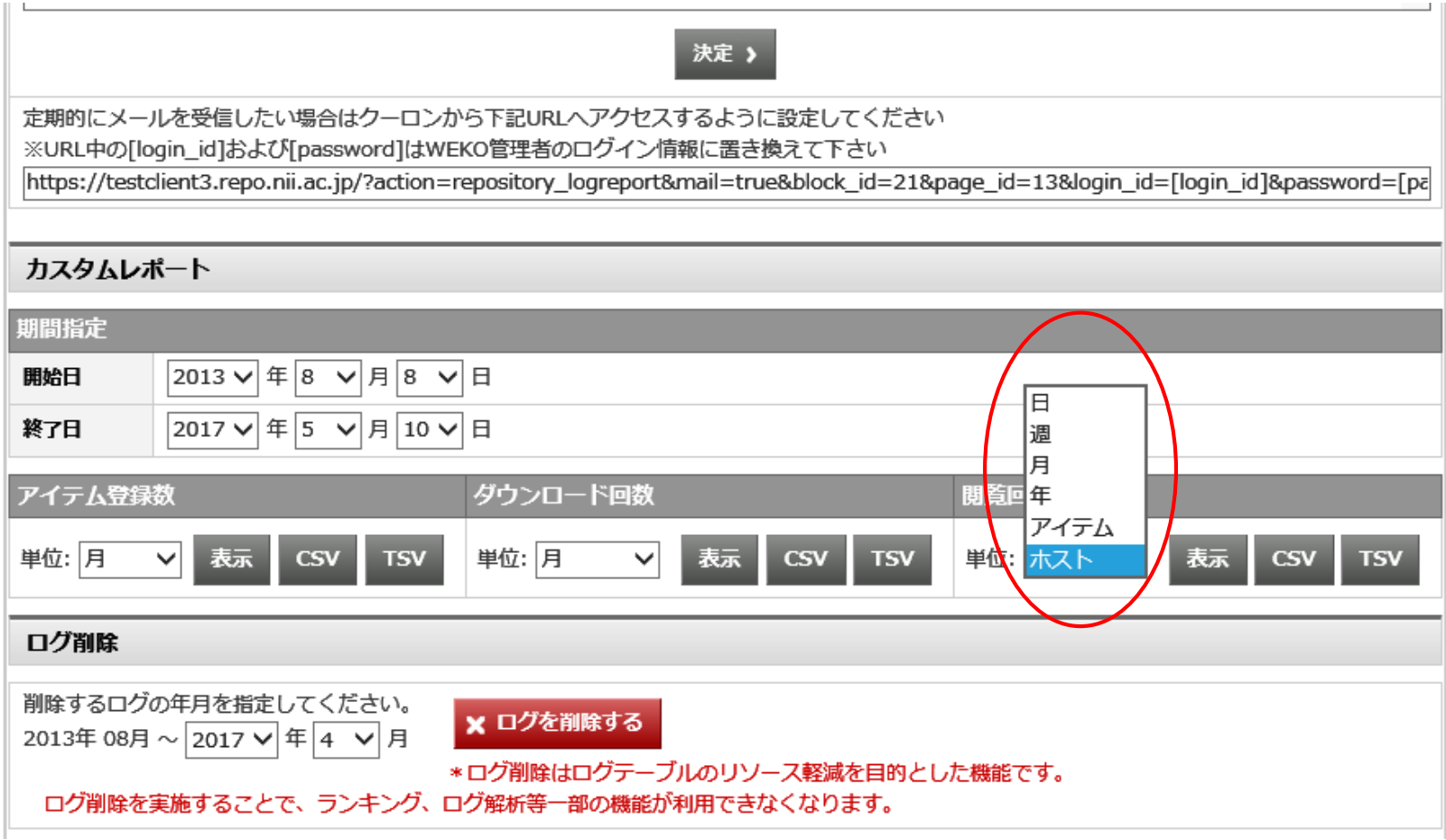
国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

12-1. ログチェック



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

12-2. ログチェック



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

12-3. ログチェック



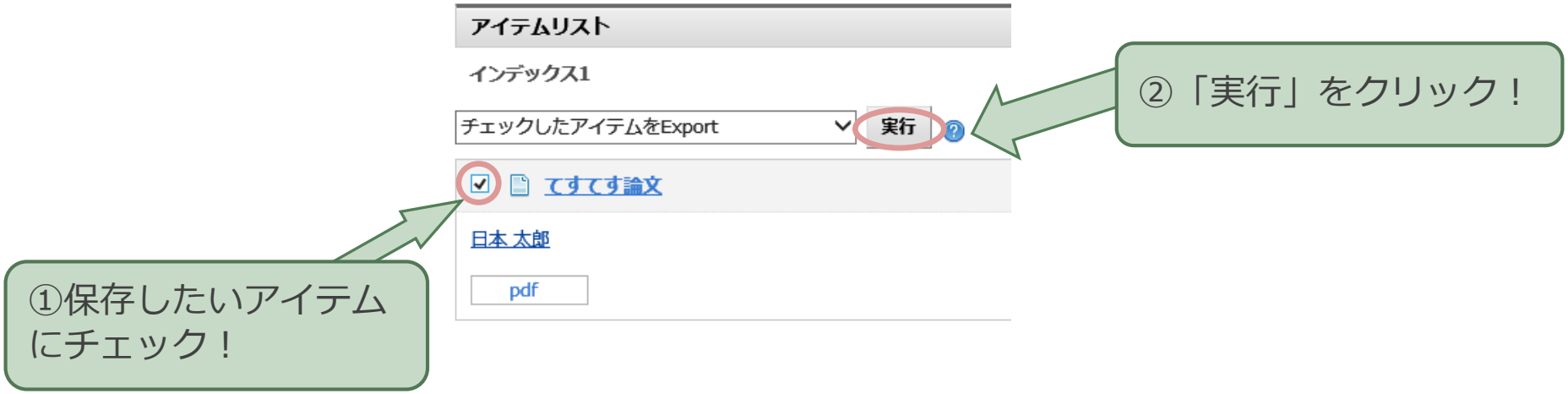
国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

付録1-1. コンテンツのバックアップについて

- メタデータファイル・本文ファイルなどは，ご自分の機関でバックアップを保存するようにしてください。
- 一括登録時のデータを残しておく
- 個別登録で登録したデータのバックアップ方法（例）

WEKO一括エクスポート機能で、バックアップファイルを作成する

1. アイテムリストから、保存したいアイテムにチェックを入れる
2. 「チェックしたアイテムをExport」で「実行」をクリックする



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

付録1-2. コンテンツの保存について

3. 選択したアイテムのタイトルが表示されていることを確認し、「エクスポート」をクリックする



4. 選択したアイテムの情報が、zip形式のファイルでダウンロードされるので、そのファイルをバックアップとして利用することも可能です。

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

付録1-3. コンテンツの保存について

- バックアップで作成したzipファイルを使うと、WEKOにデータを一括で登録することができます。

登録方法は、http://id.nii.ac.jp/1038/00000184/ を参照してください。

- アイテムのバックアップを、まとめて取ることもできます。
  - 手順2.で、プルダウンから「表示中の全てのアイテムをExport」または「このインデックスの全てのアイテムをExport 」を選択してから、「実行」をクリックしてください。

- 「表示中の全てのアイテムをExport」：表示されているアイテム全部を、まとめてエクスポートします。
- 「このインデックスの全てのアイテムをExport 」：インデックスに登録されているアイテム全部を、まとめてエクスポートします。



※ JAIRO Cloudの機関管理者IDでは2017年６月現在、一度にすべてのデータの一括バックアップはできません

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

付録2-1. 独自項目の設定

- 各リポジトリ独自の項目を設定できます。画面には非表示にすることにより、管理項目として利用することも可能です。

1．WEKOのメタデータ編集

セッティングモード> 編集> アイテムタイプ編集> メタデータ編集



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

付録2-2. 独自項目の設定

- IRDBにハーベストされる際のjunii2や、OAIster等でのDublin Coreへのマッピングを設定します。この項目をハーベストの対象としないことも可能です。

2. WEKOのマッピング設定





付録2-3. 独自項目の設定

- 独自項目をハーベストの対象としないことも可能



付録2-4. アイテムタイプ編集時の注意

- ロードボタンを意図せず間違って押さないように！
  ロードを実行すると、編集中の項目はすべて上書きされます。



国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

メタデータチェックのお役立ちツール

https://mbc.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/junii2checker/

東京大学の前田朗氏作成

JAIRO Cloud（WEKO)の、アイテム詳細画面の
OAI-PMHボタンを押したときの画面出力をコピペするだけ。
junii2ガイドラインに準拠しているかのチェックができる。

自己責任でご利用くださいとのことです。

[メッセージ一覧]
https://mbc.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/junii2checker/message_list.html